

事務事業評価表 平成23年度

政策 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造
 基本事業 文化・歴史遺産の保存と継承

事業名 **郷土資料館企画展開催事業**

[0884]

部名	教育部	事業開始年度	平成22年度	実施計画事業認定	非対象
課名	郷土資料館	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市民</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>郷土資料館収蔵資料の公開を通じて、市民が郷土の歴史・文化に関心を持ってもらい、さらにはふるさと意識の醸成を図る。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>1.郷土資料館収蔵資料を中心とした企画展を開催する。 2.未公開資料を積極的に活用し、市民に多くの郷土資料を紹介する。 3.展示資料の追調査等を実施することによって、資料データの充実を図る。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	市民	人			122,138	122,138
対象指標2						
活動指標1	企画展開催数	回			1	2
活動指標2	展示資料点数	点			308	100
成果指標1	企画展入場者数	人			1,653	500
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	1,881	216
正職員人件費 (B)		千円	0	0	4,030	2,444
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	5,911	2,660

費用内訳	
22年度	報償費 104千円、需用費 90千円、委託料 1,643千円、使用料及び賃借料 44千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由・
根拠は？

市民からの寄贈品や発掘調査で見つかった資料など、文化財を保護することは市の役割であり、収集・調査した成果を市民に公開することも重要な役割である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由・
根拠は？

基本事業である「文化・歴史遺産の保存と継承」を市民に促す手段として、文化・歴史を物語る資料を公開することは基本であり、当事業の基軸である。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由・
根拠は？

22年度企画展では、予想を上回る来館者数があり、計画以上の成果を上げることができた。郷土の文化財に関心を持つ市民は潜在的に多いと思われ、企画展を継続的に実施することにより、より多くの市民に郷土の歴史・文化を学習する機会を増やす必要がある。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

郷土資料館には、企画展を行う十分なスペース・什器等が無く、また人員も限られていることから、22年度企画展を上回る成果を見込むことは難しい。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由・
根拠は？

企画展を実施する必要最低限の予算等で遂行していることから、コスト削減は難しい。